

21歳でウォークイン 宇宙の存在が伝える音

——多くの有名アーティストとの音楽制作に携わった経歴をもつらっしゃいますが、現在の活動に至るまでの経緯をお聞かせください。

クリストファー 私は、肉体が21歳の時にこの地球に入ってから来ました。人々に「自分が誰であるか」を発見してもらいたいという目的があったからです。それを達成する手段として、サウンドを使うことに決めました。サウンドは言語を介さずに地球上のすべての人とつながることができるからです。

ミュージシャンとして活動しながら、人々がどのようにサウンドに反応するのか、さまざまなデータを収集していく中で、マイケル・ジャクソンと仕事とともにするよう導かれていったのです。彼とつながることで、音楽がどのように人々に影響を与えるのか、世界レベルで、身をもって体験することができました。

その後、25年以上にわたり、人間の意識やバイブレーションの本質に関する研究を行ってきました。これらの知識と発見を組み合わせた体験を「カレルエフェクト（以下CE）」と呼んでいます。科学的な名称は「量子ポテンシャルのハーモニック

共鳴」。これは、高音質の聴覚ディスプレイシステムで体験するプライベートセッションで、サウンドのハーモニック（倍音）共鳴により、個人個人が自ら宇宙につながり、個々の超次元体験ができるようデザインされています。

——サウンドを聞くことで宇宙とつながることができるのですか。

クリストファー サウンドはバイブレーション（振動）です。そして宇宙もバイブレーション。バイブレーションの中に大小さまざまな波形パターンがあり、それぞれのパターンには情報が埋め込まれています。このパターンにアクセスすることで、知りたいことは何でも答えを得ることができます。

CEは、これらのバイブレーションに働きかけます。さらにサウンドのハーモニック、バイブレーションの共鳴により、量子ポテンシャルへとコネクタするため、意識拡張を促す手助けとなる、とてもパワフルなサウンドセッションになっています。

宇宙へのチャネルを開き 本質へとチューニング

——CEはどのように行われるのでしょうか。

宇宙と意識をつなぐアーティスト

クリストファー・カレル

Christopher Currell

人々の意識拡張をうながす パワフルなサウンドの セッション

クリストファー・カレルが創り出すサウンドバイブレーションを高性能のオーディオ再生システムで聞くことで、宇宙のバイブレーションと共鳴し、宇宙への旅、異なった時空間や次元への旅を体験できるという。それにより参加者は「自分が誰であるか」を発見し、本当の自分に戻っていく。その興味深いセッションについてお聞きしました。

取材・文 児玉真由美

クリストファー まずは、バイブレーションチューニング（波動調整）から始まり、個人個人がいまという瞬間にフォーカスできるように、周りの環境、自身のバイブレーションを調和させていきます。ある程度の調和が保たれると宇宙とのチャネルが開き、CEが始まります。

次のパートはスキヤニングと呼ばれ、いろいろな周波数を使い、オーラのエネルギーを覚めさせます。その場をより高次の場にコネクトさせるには、オーラの場合は非常に重要です。

そしていよいよ、メインパートに入っていきます。この時、肉体を出て宇宙のどこかに行つたような体験をすることがあります。人を外に出す、外在化というのですが、スピリットをボディ、マインドの外に出すことで、いま何が起きているのかを正確に見えるようにさせることがCEの目的です。それができると、自分自身が見えるようになります。

このメインパートが終わったあとのリターンがとても大切です。肉体を離れてしまっていることがあるので、注意深く元の世界に戻していきます。

終了後、体験談を書くこともセッションの一部。書くことでCEの体験が、より明確になっていくので、好きなだけ時間をかけて書いてもらいます。

セッション後、約2〜3週間後に起きることをアフターエフェクトと呼んでいます。セッション中にたくさん情報を受け取っているため、すぐには意識が上がってこず、日々の生活の中であらわれ始めることもあるのです。実際に多くの方がこの時期に、ポジティブなシフトを体験しています。

すべては、参加者自らが引き起こしている体験

スピリチュアルワークに真剣に取り組む、意識を拡張し、気づきを高めるには、自分で決断することが非常に大切です。そうでないと、同じことの繰り返しになってしまいます。

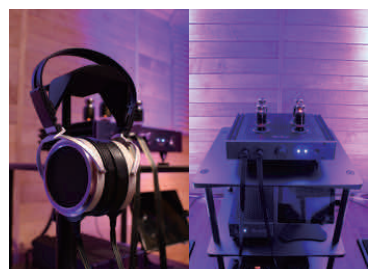
CEの究極的な目的は、参加者が自分自身で選択できるようにすることです。そのため、これを見せたい、感じさせたいなどといったサブリミナルなものは一切入っていません。

CEに入った瞬間起きることは、参加者自らが起こしていることであり、自らが直面する準備ができていないもの、それがあらわれるのです。

その人自身が物事を創造するということ。私はそのための環境を作っているだけです。私がやっていることすべては、ボディでもマインドでもなく、完全にスピリット（あなた）が

意識を変えるCEオーディオセッション

高音質のサウンドバイブレーションを、最高級のヘッドフォンシステムで体験できる。照明を落とした空間の中、より聴覚に集中できるようにアイマスクを使用。ヘッドフォンを装着し、準備が整ったら1時間のセッションが始まり、宇宙への旅、異なった時間や次元への旅へと誘う……。



- ▶次開催日:2016年1月30日(土)~2月1日(月) (所要時間1.5時間)※完全予約制
- ▶開催場所:スペース オブパイフォー <http://transformation.ishwish.net/session/>
- ▶各種お問い合わせ
トランスフォーメーション・ツールズ <http://transformation.ishwish.net>
オンラインショップ <http://audiocybernetic.cart.fc2.com>
Facebook <http://www.facebook.com/transformation.ishwish>



CEを理解し正しく使うための情報がすべて入った書籍『カレルエフェクトー量子ポテンシャルのハーモニック共鳴』、12月末にリリース。月にリリース。また、セッションを受ける前にCEの世界を体験してみたい方にはCDもおすすすめ。写真のCDは『Garden of Zoe (ガーデンオブゾー)』、2,315円+税



クリストファー・カレル
Christopher Currell
音楽プロデューサー、ギタリスト。シンセサイザーの最高峰シンクラビアの先駆者であり、最先端の楽器Ztar演奏の第一人者。クインシー・ジョーンズ、ポール・サイモン、スティビー・ワンダーなどと音楽制作に携わる。マイケル・ジャクソンの『BAD』の製作やワールドコンサートでの演奏など、マイケルの全盛期を支える。現在は活動拠点を日本に移し、2012年、意識の拡張を促す新しいプロジェクトCEを開始する。

——自分が誰であるかがわかったら、どのようなことが起こるのでしょうか。

クリストファー 自分が誰であるかを知るといことは、コインの裏側を見るようなもので、自分には無限の可能性があること。

あなたもぜひ、この素晴らしいアドベンチャーを体験してみてください。

——自分が誰であるかがわかったら、どのようなことが起こるのでしょうか。

進んでも、二歩下がってしまっているような状態です。この早い動きと変化に遅れずについていくには、私たちの意識拡張の比率と質を加速させる必要があります。より早く効果を得られるもの、先行して波の前に行ける手法が必要でした。

想像してみてください。あなたは真っすぐに伸びたひもの中央を持っているとします。手元でひものアングルを数度変えると、その先はどうなるでしょう。ずいぶん角度が変わりますね。人生もまさにその通りで、いまここでのほんの少しの変化が、未来を大きく変えることになるのです。

ターゲットなのです。

——なぜ、サウンドや最先端の科学を使われているのですか。

クリストファー 私たちを取り巻く環境は、日々めまぐるしく変化しています。さまざまな手法を用いて意識を拡張させようとしても、ひずみがつくられるスピードの方が早いので、一歩進んでも、二歩下がってしまっているような状態です。この早い動きと変化に遅れずについていくには、私たちの意識拡張の比率と質を加速させる必要があります。より早く効果を得られるもの、先行して波の前に行ける手法が必要でした。

その発見に過ぎません。何でもやりたいことができ、物事を知れることも、新しい能力を得ることも可能です。

CEで外在化を体験すると、物事を全く違った視点で見ることができるようになります。新しい視点をもつことで、その後の選択が変わっていきます。自分の人生における決意、決断が変わり、歩む道がシフトすることで、それまでコントロールできなかった人生が、自分でコントロールできる人生に戻るわけです。